令和２年度学校だより　学校教育目標「せいいっぱい　きたえ　のびよう　東っ子」

# 東白川小だより

令和２年４月７日（火）ＮＯ．１

## 自分を出し切り　笑顔いっぱいの学校に

東白川小学校長　　伊佐治　晃

コロナウイルスの影響で約１ヶ月の臨時休業。子どもたちの声が響かない校舎は寂しいものです。学校ではスタートに不安を残しながらも、子どもたちを迎える準備を進めてきました。校門前の桜の木々も「まだか、まだか」と子どもたちを待ちわび、つぼみをふくらませていました。本日、こうして新年をスタートさせ、新１年生、そして進級した子どもたちの元気な姿に出会えたこと、職員一同、大変嬉しく思っております。子どもたちもこの日を待ちわびたことでしょう。

令和２年度、東白川小学校は 13 人の新入生を迎え、全校児童 76 名でスタートします。

本年度より東白川小学校長としてお世話になることになりました。本校教育目標である「せいいっぱい　きたえ　のびよう　東っ子」に向けて、職員一丸となって、この村の宝である子どもたちを全力で育てていきます。今後さらに、コロナウイルスの影響でいろいろなお願いをしていくことになるかもしれません。保護者の皆様、地域の皆様には、温かなご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 合言葉は　「出し切る・見つめる」

今年度も、『自分を出し切り　笑顔いっぱいの学校に』をめざして「出し切る」「見つめる」ことを全校の合言葉として取り組んでいきます。

○　自分を出し切ることで、子どもたちは充実感をもちます。
○　人のために尽くすことで役立ったという思いをもちます。
○　みんなが互いのよさに共感し合うことで、笑顔が生まれます。

私たち教職員は、「本気で出し切る姿を全力で応援します。」「互いのよさを広め、いい時間をつくります。」「人のために尽くす姿を認め励まします。」

保護者のみなさん、そして地域の人たちにパワーを与える「子どもたちの笑顔いっぱいの学校」をつくります。応援、よろしくお願いします。

「フットワーク」「チームワーク」「ネットワーク」を大切にして、全力をつくす教師集団をめざします。